

報道取材情報（沼津市）

令和2年6月17日（水）発表

名称等	沼津新仲見世商店街の空間再編プロジェクトが進行中です。
実施日時	令和2年6月22日（月曜日）からアーケード撤去に着手
場所	沼津新仲見世商店街（沼津市大手町4丁目付近）
担当	都市計画部 まちづくり政策課 直通 055-934-4886 内線 2579

1 事業概要

沼津新仲見世商店街が約50年前に建設したアーケードは老朽化が進み、これまで幾度となくアーケード撤去の話が持ち上がったものの頓挫してきました。しかし、昨今の沼津市リノベーションまちづくりの取り組みによって、新仲見世商店街付近では遊休不動産を活用した事業がいくつも生まれ、まちに変化の兆しが見えてきたことや、他の商店街において、実際にアーケード撤去を伴う空間再編とその後の空間活用の事例があることを知り、商店街が自らアーケードを撤去することを決意しました。

この民間の動きに合わせ、アーケード下の道路を管理する市も商店街と共にアーケード撤去後の未来を考え、自然と人が集まりたくなるような心地良い空間に再編する公民連携のプロジェクトを進めています。

（参考：沼津新仲見世商店街 会員数19（R2.1時点） 会長 井草雅彦）

2 経緯・経過

過去に何度かアーケード撤去が検討されたが合意に至らず断念した経緯あり。

平成28年度 沼津市リノベーションまちづくり戦略会議において、福岡県北九州市の魚町サンロード商店街の理事長を招き、アーケード撤去事例を紹介。

平成29年度 アーケード問題について、商店街と市で検討スタート。
商店街を広場化した「Neo商店街」を実施。

平成30年度 商店街がアーケード撤去の方針を決定。
アーケード撤去後の空間活用の方向性を探るワークショップを開催。

令和元年度 近隣商店街や関係機関との調整、アーケード撤去の発注準備を進めた。
市では、道路の測量・改良設計、空間デザイン設計を実施。
商店街、市、（一社）lanescapeの3者連携により、道路上にテーブルやイスを置く社会実験を実施。

令和2年度 アーケード撤去は、5月27日に事業者決定、6月22日より工事着手予定。
道路改修については、現在、市の道路管理課にて発注準備中。

3 影響・効果

- ・商店街に自然と人が集まりたくなるような心地良い空間に再編する。
- ・商店街がイベント等を開催しやすい環境を整備する。
- ・個の取り組みからエリアの取り組みに広げることでまちの期待値を上げる。

4 特徴

- ・過去に何度も頓挫したアーケード撤去が、リノベーションまちづくりの取り組みによって動き出した。
- ・商店街が自主財源と借入れによって自ら撤去し、商店会費だけに頼るのではなく、自ら稼ぐスキームを検討中。
- ・アーケード維持について課題を抱える商店街のこれからのモデルケースになり得る。